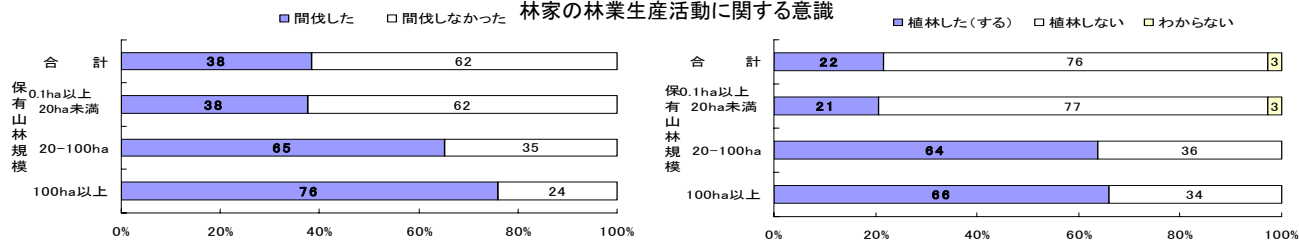


指標：森林整備の状況

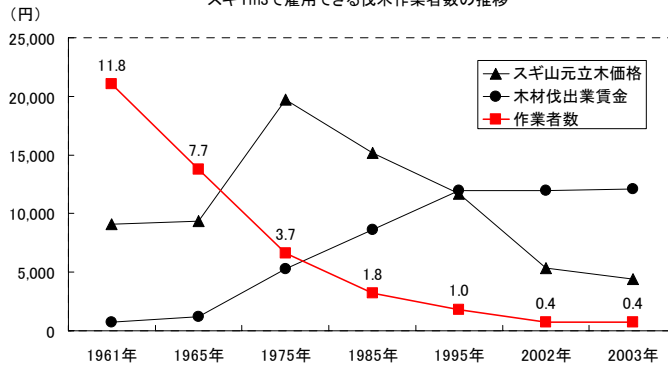
林家へのアンケート調査によると、間伐対象山林があるにもかかわらず、間伐を実施しなかったと回答した林家が6割以上、伐採跡地へ植林しないと回答した林家が8割近くにのぼっており、植林、間伐などの保育が十分に行われない森林の増加が懸念される。  
 森林資源は、人工林を中心に増加している反面、近年の木材価格の低迷、労賃など経費の増大により、これまで森林整備を担ってきた林業経営が厳しい状況にある。

林家の林業生産活動に関する意識



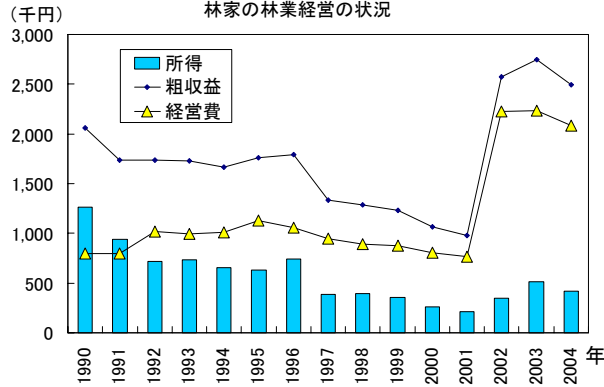
出典：林野庁「平成13年度 森林及び林業の動向に関する年次報告」より国土交通省国土計画局作成  
 資料：農林水産省「山林保有者の林業生産活動に関するアンケート(平成9年11月)」  
 注：1)間伐実施状況は、過去5年間に於いて、間伐を実施した林家と間伐対象山林があるにもかかわらず間伐を実施しなかった林家数の構成比である。  
 2)四捨五入の関係で内訳と計とは必ずしも一致しない。

スギ1m3で雇用できる伐木作業者数の推移



出典：「森林及び林業の動向に関する年次報告」をもとに国土交通省国土計画局作成

林家の林業経営の状況



出典：「林業経営統計」をもとに国土交通省国土計画局作成  
 注) 1戸あたりの平均値